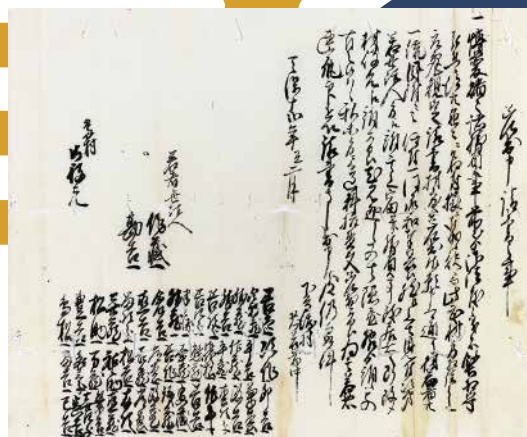


▼陸奥國信夫郡下鳥渡村繪圖（下鳥渡区文書（その一）242）



▲差出申請書之事（下鳥渡区文書（その一）272）

令和2年度
福島県歴史資料館収蔵資料展

新公開史料展

令和2年 12月 5日 土 — 令和2年 12月 13日 日
令和3年 2月 16日 火 — 令和3年 3月 28日 日

▼萬國渡海年代記全（今村文直家文書21）



▲〔消防組写真〕（丹治昭夫家文書147）

福島県歴史資料館展示室
（とうほう・みんなの文化センター内）

入館無料

〔開館時間〕 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

〔休館日〕 令和2年12月14日（月）～令和3年2月15日（月）、
2月22日（月）、3月8日（月）・22日（月）

〔主 催〕 公益財団法人 福島県文化振興財団



福島県歴史資料館

〒960-8116
福島県福島市春日町 5-54

TEL 024-534-9193
FAX 024-534-9195



福島県歴史資料館

検索

新公開史料展

『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第51集に収録され、新たに公開となった信夫郡下鳥渡村（現福島市下鳥渡）ゆかりの「下鳥渡区有文書（その一）」と伊達郡掛田村（現伊達市霊山町）ゆかりの「今村文直家文書」、伊達郡山戸田村（現伊達市霊山町）ゆかりの「丹治昭夫家文書」を展示し、各文書群の魅力と特徴的史料を紹介します。



陸奥國信夫郡下鳥渡村繪圖

〔文政〕7年（1824）6月 下鳥渡区有文書（その一）242

下鳥渡村の全図で、下が北にあたる構図です。南西部に山林（緑色）が広がり、中央から北東部に田地（黄色）が展開しています。河川・用水の流路や陽泉寺などの寺社、稲荷山古墳などの史跡や巨木などが丁寧に描かれています。



差出申請書之事

天保12年（1841）2月 下鳥渡区有文書（その一）272

下鳥渡村の若者らが博奕の^{ばくち}見廻り目付役を務めた際に村へ提出した誓約書です。博奕取締と見逃した場合の罰金を誓っています。若者の行動力は制御できない怖さもありましたが、彼らを上手に取り込み村の運営に活かしました。



萬國渡海年代記 全

〔嘉永以降〕 今村文直家文書 21

過去に日本に渡来した諸外国について、鎌倉時代から順に記した板本です。嘉永6年（1853）のペリー来航以降、外国（とくに西洋諸国）に対する関心や警戒が高まり、こうした書物が多数出版されました。



〔消防組写真〕

大正12年（1923）10月17日 丹治昭夫家文書147

丹治家の先祖が小頭をつとめた石戸消防組の記念写真です。保原町（現伊達市保原町）の小野写真館が撮影し、齋藤巴江編纂・消防図書出版部発行の『福島縣の精華 消防名誉かゝり』（1925年刊）に掲載されました。